



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 都築電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8157 URL <https://www.tsuzuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江森 勲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員広報・IR室長 (氏名) 平井 俊弘 TEL 03-6833-7780  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 2019年11月29日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	56,507	10.9	1,054	193.0	1,057	131.8	658	107.4
2019年3月期第2四半期	50,950	4.1	359	173.5	456	256.7	317	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 541百万円(96.8%) 2019年3月期第2四半期 275百万円(△14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.10	—
2019年3月期第2四半期	18.52	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	75,285	28,783	38.2	1,662.37
2019年3月期	78,944	28,716	36.4	1,666.86

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 28,783百万円 2019年3月期 28,716百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	29.00	39.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	29.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	0.1	3,500	5.5	3,600	3.0	2,360	6.7	136.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P10. 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	24,677,894株	2019年3月期	24,677,894株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	7,363,313株	2019年3月期	7,450,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	17,274,076株	2019年3月期2Q	17,133,955株

(注) 自己株式については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式（2020年3月期2Q 118,500株、2019年3月期 180,000株）、役員報酬BIP信託口が所有する当社株式（2020年3月期2Q 277,431株、2019年3月期 300,200株）及び株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2020年3月期2Q 478,150株、2019年3月期 480,700株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年11月20日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。  
この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、個人消費の持ち直しや設備投資の増加が継続する等、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は通商問題を巡る緊張の増大に加え、中国経済の先行き、金融資本市場の変動の影響等が懸念されております。

当社グループの事業領域でありますICT（情報通信技術）関連業界においては、引き続き少子高齢化による労働力人口の減少や長時間労働等の社会的課題を背景に、「働き方改革」、「業務プロセスの改善」、「DX<sup>※1</sup>」をキーワードにした市場が拡大する傾向にあります。

このような環境のもと、当社グループはこれらのニーズを捉えるべく、グループ各社それぞれの強みを生かした各種ソリューションサービスを積極的に推進し、情報ネットワークソリューションサービスの売上高は前年実績を大幅に上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高56,507百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。また、損益面につきましては、営業利益1,054百万円（前年同四半期比193.0%増）、経常利益1,057百万円（前年同四半期比131.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益658百万円（前年同四半期比107.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

※1 DX…Digital Transformation（企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとに製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。）

情報ネットワークソリューションサービス
---------------------

ネットワークインテグレーションにつきましては、当社の強みであるユニファイドコミュニケーション<sup>※2</sup>やAI技術を活用したクラウド型コンタクトセンター（CT-e1/SaaS）等の構築商談が引き続き順調に推移したものの、前期に複数の大規模ネットワーク構築商談があったため、前年実績を下回りました。

システムインテグレーションにつきましては、マイクロソフト製品のサポート終了に伴うサーバ・PCの更新需要、消費税率変更及び軽減税率・元号改正対応等の商談が大幅に伸びました。また、RFIDを活用したタグ管理システムの導入、大規模ITインフラ構築商談も引き続き活発に推移いたしました。

サービスビジネスにつきましては、機器保守、アプリ保守に加え、運用サービス（マルチデバイスサポートや、ICT基盤の運用保守を総合的に受託するといったシステム運用サービス等）も着実に伸びました。

業種別では製造、流通、金融等のお客さま向けにネットワーク構築、サーバ・PC更新、キッティング及び運用サービスの導入を中心に好調に推移いたしました。食品、小売、外食、サービス等のお客さま向けには、前期に引き続き、サイネージシステム、店舗用端末（車載端末含む）、アプリケーション開発を積極的に推進いたしました。

AIにつきましては、AIラボセンターを新設し、AI技術者を増員する等、積極的に取り組んでおります。

この結果、情報ネットワークソリューションサービスは売上高45,483百万円（前年同四半期比20.1%増）、営業利益1,063百万円（前年同四半期比325.5%増）となりました。

※2 ユニファイドコミュニケーション…通信サービスの統合。音声・映像・テキストを統合したICT環境を表す。

電子デバイス
--------

半導体ビジネスにつきましては、中国市場における設備投資需要の鈍化が継続しており、FA機器向け半導体、電子部品は低調に推移いたしました。また、車載情報機器向け液晶パネルはモデル切り替えによる採用車種の減少により大きく減少し、半導体ビジネスの売上高及び損益は前年実績を大きく下回る結果となりました。

情報機器ビジネスにつきましては、サーバ機器を中心とした組込商材、メモristレージ製品が拡大し、堅調に推移いたしました。

この結果、電子デバイスは売上高11,024百万円（前年同期比15.8%減）、営業損失10百万円（前年同四半期は営業利益104百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における販売実績及び受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

## ① 販売実績

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期		
		前年同四半期比		
情報ネットワークソリューションサービス	37,858	45,483	7,624	120.1%
ネットワークインテグレーション	7,146	6,558	△587	91.8%
システムインテグレーション	12,662	18,875	6,213	149.1%
サービスビジネス	18,050	20,048	1,998	111.1%
電子デバイス	13,091	11,024	△2,067	84.2%
合計	50,950	56,507	5,557	110.9%

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注高

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期		
		前年同四半期比		
情報ネットワークソリューションサービス	49,750	53,496	3,745	107.5%
電子デバイス	13,796	10,649	△3,146	77.2%
合計	63,546	64,145	599	100.9%

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 受注残高

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期		
		前年同四半期比		
情報ネットワークソリューションサービス	26,821	25,718	△1,102	95.9%
電子デバイス	6,686	6,874	187	102.8%
合計	33,508	32,593	△914	97.3%

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して3,658百万円減少し、75,285百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少5,620百万円及びたな卸資産の増加3,402百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して3,725百万円減少し、46,502百万円となりました。この主な要因は、借入金の減少(純額)2,890百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して66百万円増加し、28,783百万円となり、自己資本比率は38.2%(前連結会計年度末は36.4%)となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益658百万円の計上、剰余金の配当527百万円に伴う利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の減少53百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表しました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,457	14,966
受取手形及び売掛金	29,567	23,947
電子記録債権	3,805	3,515
たな卸資産	8,088	11,491
未収還付法人税等	6	5
その他	2,394	1,936
貸倒引当金	△149	△150
流動資産合計	59,171	55,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,690	1,710
減価償却累計額	△880	△901
建物及び構築物 (純額)	809	809
機械装置及び運搬具	7	7
減価償却累計額	△5	△5
機械装置及び運搬具 (純額)	2	1
土地	2,222	2,222
リース資産	5,425	5,345
減価償却累計額	△1,566	△1,930
リース資産 (純額)	3,858	3,415
建設仮勘定	238	596
その他	852	886
減価償却累計額	△673	△701
その他 (純額)	178	184
有形固定資産合計	7,310	7,229
無形固定資産		
リース資産	671	707
その他	2,368	2,373
無形固定資産合計	3,040	3,081
投資その他の資産		
投資有価証券	4,643	4,211
長期貸付金	44	42
繰延税金資産	3,426	3,591
その他	1,390	1,485
貸倒引当金	△82	△67
投資その他の資産合計	9,422	9,261
固定資産合計	19,772	19,573
資産合計	78,944	75,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,609	18,825
短期借入金	8,042	5,326
1年内返済予定の長期借入金	4,108	953
リース債務	1,333	1,451
未払法人税等	877	531
賞与引当金	2,567	2,359
受注損失引当金	154	198
その他	5,445	5,080
流動負債合計	41,138	34,726
固定負債		
長期借入金	—	2,980
リース債務	3,392	3,011
繰延税金負債	10	9
退職給付に係る負債	5,434	5,334
長期未払金	52	28
その他の引当金	179	372
その他	20	39
固定負債合計	9,089	11,775
負債合計	50,228	46,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,812	9,812
資本剰余金	3,100	3,100
利益剰余金	19,973	20,104
自己株式	△5,816	△5,764
株主資本合計	27,070	27,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,036	982
為替換算調整勘定	36	0
退職給付に係る調整累計額	572	546
その他の包括利益累計額合計	1,646	1,529
純資産合計	28,716	28,783
負債純資産合計	78,944	75,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	50,950	56,507
売上原価	41,761	46,294
売上総利益	9,189	10,212
販売費及び一般管理費	8,829	9,158
営業利益	359	1,054
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	57	54
為替差益	10	7
受取保険金	60	—
その他	61	47
営業外収益合計	197	111
営業外費用		
支払利息	75	75
その他	25	32
営業外費用合計	100	108
経常利益	456	1,057
特別利益		
投資有価証券売却益	116	32
特別利益合計	116	32
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別退職金	63	104
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	66	104
税金等調整前四半期純利益	505	985
法人税等	188	327
四半期純利益	317	658
親会社株主に帰属する四半期純利益	317	658



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	317	658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△53
為替換算調整勘定	23	△36
退職給付に係る調整額	△56	△26
その他の包括利益合計	△42	△116
四半期包括利益	275	541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275	541
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	505	985
減価償却費	844	1,096
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△82	△207
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△161	△125
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△28	43
その他の引当金の増減額(△は減少)	181	192
受取利息及び受取配当金	△64	△56
支払利息	75	75
為替差損益(△は益)	0	△7
固定資産除売却損益(△は益)	0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△116	△32
その他の営業外損益(△は益)	△31	96
売上債権の増減額(△は増加)	8,042	5,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,353	△3,418
その他の資産の増減額(△は増加)	△267	△111
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,080	231
未払消費税等の増減額(△は減少)	△316	△309
その他の負債の増減額(△は減少)	△76	△203
小計	1,064	4,124
利息及び配当金の受取額	64	56
利息の支払額	△75	△75
その他の収入	122	46
その他の支出	△27	△24
特別退職金の支払額	△63	△104
法人税等の支払額	△390	△668
法人税等の還付額	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	696	3,353

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,042	△628
有形固定資産の売却による収入	709	825
無形固定資産の取得による支出	△410	△641
無形固定資産の売却による収入	163	135
投資有価証券の取得による支出	△25	△23
投資有価証券の売却による収入	2	413
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	9	2
その他	147	197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446	280
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△559	△2,706
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△541	△745
長期借入金の返済による支出	△916	△3,074
長期借入れによる収入	—	2,900
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	27	52
配当金の支払額	△345	△527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,336	△4,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,080	△491
現金及び現金同等物の期首残高	15,968	15,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,888	14,918

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報ネットワーク ソリューションサ ービス	電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,858	13,091	50,950	—	50,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	167	204	△204	—
計	37,896	13,259	51,155	△204	50,950
セグメント利益	249	104	353	5	359

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報ネットワーク ソリューションサ ービス	電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,483	11,024	56,507	—	56,507
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	135	155	△155	—
計	45,503	11,160	56,663	△155	56,507
セグメント利益又は損失(△)	1,063	△10	1,052	1	1,054

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。